

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 3 月 10 日作成)

小委員会名	期限付き建築物小委員会		主 査 名：柳澤孝次 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造運営員会構造運営員会 仮設構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：森脇登美夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>都市空間の有効利用や、再生再構築エネルギー削減などを背景とした経済合理性を迫る立場から見れば、現行建築基準法が想定している仮設（1 年）か、恒久か、2 つの使用期限の枠は余りに懸け離れており、この極端な 2 つの枠の間にこそ、我々が求める建築の姿がある。期限付き建築物の考え方を進化させて、持続可能な社会の構築に相応しい、新しい価値観を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2009年度：2002年度に取り纏められた「期限付き建築物の構造設計ガイド(案)」の見直し ・2010年度：地球環境保全や人類の経済合理性迫及を踏まえた内容の検討 ・2011年度：一般会員との意見交換を目指した、パネルディスカッションの開催 ・2012年度：パネルディスカッションの結果を踏まえて、修正・出版 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：柳澤孝次（やなぎさわ伝統建築研究室） 幹事：木村麗（建材試験センター） 委員：大山宏（HRS オフィス）、軽部正彦（森林総合研究所）、木村衛（エイ構造研）、坂井正美（アップコン）、杉田洋（広島工業大学）、辻聖晃（京都大学）、中島裕輔（工学院大学）、野中徹（アルミニウム建築構造協議会）、松野浩一（東洋大学）、室田達郎（住宅金融普及協会）、森保宏（名古屋大学）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s31/index.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『建築部材のリユースマニュアル・同解説』 * 当小委員会の前身である期限付き建築物リユース小委員会終了時点で査読中であったため、当小委員会において継続対応し、2009.10 に刊行した。
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2008 年度まで活動した期限付き建築物リユース小委員会の成果（『建築部材のリユースマニュアル・同解説』2009.10 刊行）を背景にして、「期限をどのように考えるか」だけでなく「環境的側面」等についても幅広く議論を行い、2002 年度に期限付き建築物設計小委員会によって取り纏められた「期限付き建築物の構造設計ガイド（案）」を見直すための、考え方の方向性について確認した。
委員会活動の問題点・課題	1. 電子会議やデジタルライブラリを活用し活動を行ったが、遠方の委員への交通費支給に苦慮した。